

世界に向けて“津波浸水表示板設置事業”を発信しました

平成27年3月18日
防災砂防課

第3回国連防災世界会議「東北防災・復興パビリオン」プレゼンテーションステージにて、仙台市若林区藤田町内会と共同で「津波浸水表示板設置事業について～3.11 伝承・減災プロジェクト～」と題して発表を行いました。当日は逐次通訳も加わり、世界各国へ津波災害を後世へ伝承する活動を発信しました。



発表では、土木部で実施している「3.11 伝承・減災プロジェクト」について説明すると共に、昨夏に「仙台市若林区藤田町内会」において実施した地区の避難路と連携した津波浸水表示板の設置事業について紹介をしました。「東北防災・復興パビリオン」内には多くの観覧者が集まり、本発表にも関心を寄せていました。

平成27年2月末現在、県内13市町、84箇所121枚の津波浸水表示板を設置しています。市町村別の詳細については、こちら(<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/281432.pdf>)をご覧ください。

